

# シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
国 語	古 典 探 究	2	3	CST	12組

教科書	「精選 古典探究 古文編」(三省堂) 「精選 古典探究 漢文編」(三省堂) 「プログレス古典総演習 基本編」(いいずな書店)	副教材	「読解を大切にする 体系古典文法」(数研出版) 「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) 「読んで見て覚える重要古文単語315」(桐原書店) 「高1・高2古文(文法編)」(リクルート) 「高1・高2・高3漢文」(リクルート)
-----	--	-----	--

科目の目標	1. 古典を読み味わう楽しさを知る。また、古典を読み味わうことを通して、多様な価値観を理解する態度を養う。 2. 古典に関する基本事項（文法、語法など）を確認するとともに、文章の内容を的確に捉える力を高める。 3. 古典について幅広く学び、語彙力と読解力を拡充させることで、基礎学力到達度テストに対応できる学力を養う。
-------	---

科目の概要	1. 古典を読み味わう力を育み、作品を理解することによってものの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする。 2. 古典に関する基本事項（文法、語法など）を確認し、その知識を活用しながら文章を読む。 3. 古典について幅広く学び、基礎学力到達度テストに向けた言語能力と読解力の拡充を図る。
-------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知識・技能」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	○古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができたか。 ○古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができたか。 ○古典の表現の特色について理解を深めることができたか。	○文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができたか。 ○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえて、古典の作品の価値について考察することができたか。 ○古典の作品について、その内容を自分の知見と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができたか。	○古典の作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができたか。 ○古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、日本の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。
評 価 の 方 法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。
定期試験、および授業内外での課題等を総合的に判断して評価する。			

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	<p>【古文】 4『古今著聞集』5『落栗物語』</p> <p>【漢文】 3『論語』4『説苑』</p> <p>* 進度により、繰り上げ・繰り下げの場合がある。 * 試験では、1・2年次の既習範囲も出題する。 【1学期 中間試験】 5月18日～21日</p>	<p>● 古典作品に親しみ、内容の面白さを捉える。 ● 文章を読み解くための基礎知識を確認する。</p> <p>【古文】 ・動詞を復習する。 ・助動詞（自発・可能・受け身・尊敬・使役）を復習する。</p> <p>【漢文】 ・置き字・返読文字・再読文字を復習する。</p>
	<p>【古文】 6『土佐日記』7『十訓抄』8『古本説話集』</p> <p>【漢文】 5『世説新語』6『十八史略』7『蒙求』</p> <p>* 進度により、繰り上げ・繰り下げの場合がある。 * 試験では、1・2年次の既習範囲も出題する。 【1学期 期末試験】 7月1日～7日</p>	<p>● 古典作品に親しみ、内容の面白さを捉える。 ● 文章を読み解くための基礎知識を確認する。</p> <p>【古文】 ・助動詞（自発・可能・受け身・尊敬・使役・過去・完了）を復習する。</p> <p>【漢文】 ・句形（否定形・疑問形）を復習する。</p>
2 学 期	<p>【古文】 9『伊勢物語』10『発心集』11『徒然草』</p> <p>【漢文】 8『一笑』9『史記』10『十八史略』</p> <p>* 進度により、繰り上げ・繰り下げの場合がある。 * 試験では、1・2年次の既習範囲も出題する。 【2学期 中間試験】 10月13日～16日</p>	<p>● 問題演習を通して、読解と解法の要領を学ぶ。 ● 入試レベルの読解力と実践力を拡充する。</p> <p>【古文】 ・助動詞（推量・推定・打消推量・願望・断定・打消・比況）を復習する。</p> <p>【漢文】 ・句形（疑問形・反語形・使役形・受身形）を復習する。</p>
	<p>【古文】 12『花月草紙』13『沙石集』14『古今著聞集』</p> <p>【漢文】 11『韓非子』12『莊子』13『秋風引・黄鶴楼』</p> <p>* 進度により、繰り上げ・繰り下げの場合がある。 * 試験では、1・2年次の既習範囲も出題する。 【2学期 期末試験】 12月1日～7日</p>	<p>● 問題演習を通して、読解と解法の要領を学ぶ。 ● 入試レベルの読解力と実践力を拡充する。</p> <p>【古文】 ・格助詞・接続助詞・係助詞を復習する。 ・副助詞・終助詞・間投助詞を復習する。 ・副詞を復習する。</p> <p>【漢文】 ・句形（比較形・選択形・抑揚形・累加形・漢詩）を復習する。</p>
3 学 期	<p>《特別編成授業》 ・生徒の希望・志向をもとに「受験古典」と「教養古典」の2科目編成でそれぞれ授業を行う。</p>	<p>《特別編成授業》 「受験古典」では一般受験の生徒の要望を考慮した読解力と設問解答力の増強を図る。 「教養古典」では普通の授業では成し得ない、伝統文化・教養としての古典作品を味わうとともに、先人のものの見方や考え方を学ぶ。</p>